

飯南町総合振興計画等評価委員会 平成28年度に町が実施した事業を評価しました

「第2次総合振興計画」「総合戦略」2つの計画で定めた施策(数値目標)の進捗や成果などについて、評価委員会(赤穴憲一委員長)で評価と意見交換を行いました。評価委員会での意見は、来年度事業の組み立てなどに反映していきたいと考えています。評価委員会の主な意見は下記のとおりです。(詳細は町のホームページに掲載)

※第2次総合振興計画(H28-H37)
10年後の、本町が目指す将来像やまちづくりの基本方針や実現のための施策をまとめた計画。

※総合戦略(H27-H31)

持続可能な地域をつくるため、人口減少対策に必要な中期的な施策の基本方針をまとめた計画。

評価委員会

開催日

平成29年8月22日、24日

場所

飯南町役場2階会議室

評価委員出席者数

12名

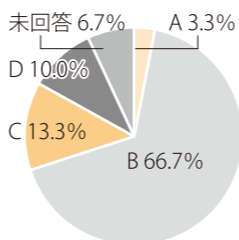
評価基準

- A:極めて効果的。このまま継続して事業を推進
- B:想定する効果に達している。継続して事業を推進
- C:想定する効果にやや達していない。要因分析が必要
- D:想定する効果を大きく下回っている。要因分析と目標値の見直しが必要
- E:効果が出ていない。事業自体の抜本的見直しが必要

評価委員会での意見(評価施策・意見)

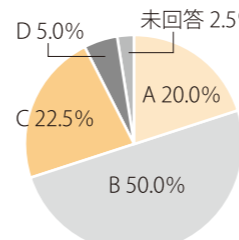
1)自治・協働分野

評価施策:「小さな拠点づくり推進事業」「買い物物支援助成事業」
評価意見:小さな拠点づくりは、集落支援員の配置など組織体制強化は高く評価するが、それぞれの地域課題に合った支援を進めることが必要。買い物物支援助成は、今後の運営状況把握や地域の見守り機能の強化が必要。



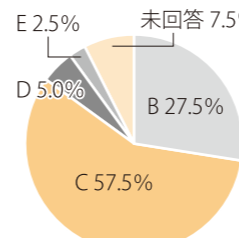
2)教育・文化・子育て分野

評価施策:「子ども・子育て支援事業」「出会い創出事業」「飯南高校教育支援」
評価意見:子育て対策は、子育て企業認定事業が、子育てと労働の両立に有効であると評価。出会い創出事業は、成婚者数も増加し一定の成果が得られている。教育支援は、魅力あるカリキュラムや保護者の負担軽減措置により生徒数確保を達成している。しかし、今後生徒数が減少する状況もあり、小中学生を増加させるための施策検討が必要。



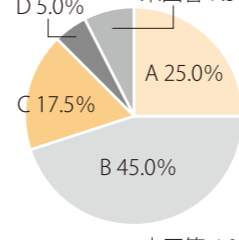
3)産業分野

評価施策:「園芸振興対策事業」「リースハウス団地整備事業」「森林セラピー推進事業」「飯南町情報発信事業」「観光協会運営事業」「創業支援事業」「ふるさと応援寄附促進事業」
評価意見:農業分野は、飯南ブランドの構築について対策が不十分であり、流通や販売に力を注ぐことが必要。商工分野は、団体に補助等支援した後も状況を把握し、自立を促す対策が必要。観光分野は、観光協会を中心に、観光に関するデータ分析を行いながらの取り組みが必要。



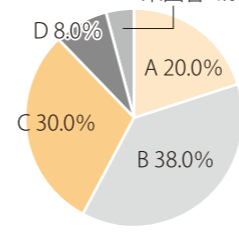
4)保健・福祉分野

評価施策:「医療従事者確保対策事業」「地域包括支援センター運営事業」「障がい者地域生活支援事業」
評価意見:保健福祉分野は、「いーにゃんポイント」の実施は評価するが、制度が複雑で改善が必要。「長生き体操」は、高齢者が外出する機会が拡大し、効果的な事業。検診受診率向上のため、70歳以上の検診無料など、高齢者に対するきめ細やかな対応や検診案内を高く評価。



5)生活環境

評価施策:「情報通信基盤整備事業」「公共交通機関利用促進事業」「住宅店舗リフォーム等助成事業」「三十路式事業」「定住促進対策事業」
評価意見:情報通信は、定住・企業誘致でも不可欠な事業であるため、最優先で整備を進めてほしい。公共交通は、デマンド型タクシーのほか、今後の人口状況を見据えて、自治会輸送やタクシー割引制度など、利便性向上と経費削減の検討が必要。定住施策は、目標指標を達成しており、雇用・定住と連携した推進を高く評価。



いきいきと輝いて「家の光グループ」が

社会参加活動事例表彰を受賞

10/3 火

志々地区の「家の光グループ」が、高齢者がグループ等で、地域社会活動や世代間交流などの社会参加活動を積極的に取り組み、長寿社会の模範となる団体であるとして表彰されました。

同グループは、志々地区の女性33名で構成。協同の心を家族で育む雑誌「家の光」を教科書に、食生活の改善や伝統食の普及、水質浄化や営農など衣食住をテーマとして活動しています。活動は30年以上継続され、生活の質の向上を図るとともに、様々な地域活動に貢献されています。新会員を除く平均年齢は85歳ですが、若者を上回るパワーで地域に元気を生み出しています。



表彰式には13名が出席。内閣府特命大臣からの賞状と楯を、山崎町長が伝達授与しました。

交通指導員を委嘱

平成29年10月1日付で、次の方を飯南町交通指導員として委嘱しました。



三上和人さん(赤名地区)

安部巨さんが地方教育行政功労者表彰を受賞(文部科学大臣表彰)

安部巨さん(野営)は、平成21年2月から平成29年2月まで飯南町教育委員会教育長として、2期8年にわたって学校教育・社会教育の推進に尽力されました。

在職中は、ICT教育の普及・推進や公営塾「学習支援館」の設立、県立飯南高等学校存続に向けて、地域との協力・連携による高校魅力化事業などに取り組まれました。

飯南町建設業協会が「子ども110番の家」の旗を寄贈

10/10 火

飯南町建設業協会から、町内地域の見守り活動をする青パト隊やPTAなどに、「子ども110番の家」ののぼり旗80本が寄贈されました。

「子ども110番の家」は、主に登校路沿いにある商店や民家などで、事故にあつたり、不審者に声をかけられたりしたときに立ち寄れる場所です。

これまで登録場所の表示にはステッカーを使用していましたが、「子どもたちに分かりやすいように」と、旗が寄贈されました。今後、町内69カ所の登録場所に設置される予定です。



建設業協会の藤原昌一会長から、代表して頓原小学校の大給一也PTA会長に手渡されました。